

新化 *Let's Fight Together!* 進路通信第7号

期末考査が終わり10月になりました。後期のスタートです。

3年生は大学入学共通テストの出願が終わり、10月、11月は模試の連続です。総合型選抜の人にも学校推薦型選抜の人にも、模試は重要です。一般選抜が終わる3月まで気を抜いてはいけません。もちろん高校生がしっかり学力をつけるために努力するのは当然のことです。今3年生は学年全体に心地よい緊張感が漂ってきています。この雰囲気が大事だと思います。就職試験の結果も出そろってきました。残念だった人も次があります。たくさんの優良な企業がみなさんを渴望しています。まだまだこれからです。

1、2年生は来月早々に模試があります。7月以来の全国規模の模試です。気合いを入れて臨みましょう。進路ガイダンスも楽しみです。

スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋。

中旬にはスポーツ大会、下旬には2年生の修学旅行と1、3年の校外研修があります。

澄んだ空と乾いた空気。秋の爽やかさを味わえる日が多いといいですね。

《当面の進路関係行事》

- 10 / 6 (木) 1, 2年生進路ガイダンス
- 8 (土) 3年生ベネッセ駿台記述模試
- 12 (水) スポーツ大会
- 15 (土) 3年生全統記述模試
- 18 (火) ~ 31 (月) 教育相談週間 5分短授業
- 21 (金) 通知表手交日 第2回進学校内推薦会議
- 26 (水) ~ 28 (金) 2年生修学旅行
- 26 (水) 1, 3年生校外研修
- 28 (金) 29 (土) 3年生全統共通テスト模試
- 11 / 4 (金) 5 (土) 2年生ベネッセ学力テスト
- 5 (土) 1年生ベネッセ学力テスト

《雑感》

戦争が続いている。実は世界のあちこちで戦争が続いている。大きく取り上げられないだけで本当に世界中で戦争が起き続けている。大義名分があろうとなかろうと戦争は殺し合いである。会ったことも話したこともない人を無差別的に殺したい人はいるのだろうか。自分自身が戦争の現場(戦場)に出向くことを心から望む人はいるのだろうか。

人が複数いれば利害が絡む。戦争のない歴史はない。だが人間は戦争が起きないように努力してきたのも事実のはずだ。

我々は歴史を学んでいる。だが「〇〇戦争では△△が勝ち、××が負けました。」で何が学べるのだろうか。「国際連合ができました」で何がわかるのだろうか。誤解を恐れずに言えばスポーツの勝ち負けは結果だけであり、今も昔もそれは変わらない。いつ、どこの大会で誰が勝ったという記録だけの話だから「知識」でいい。

だが戦争は違う。

源平の争いと織田信長の天下統一と第二次世界大戦では、何がどう違うのか。「歴史に学ぶ」というが、戦争になった原因、人的被害、戦争にかかった経費、国土の荒廃の程度、戦勝国は本当に得をしたのか、敗戦国はどうなったのか、それ以前と以後でその国の人の心はどう変わったのか、などについて我々は学んでいるのだろうか。ある戦争を取り上げてどこをどうすれば防げたのか（できたかできなかったかは別にして）、検証できているのだろうか。

私は戦場に行きたくないし、自分の家族や生徒も戦死してほしくない。戦争を決断し、命令する人もそれは同じだと思う（思いたい）が、それでは甘いのだろうか。

新渡戸稲造（1862～1933年）は、当時の国際連盟で事務次長にまでなった人物で、旧5000円札の肖像にもなりました。彼の「我、太平洋の橋たらん」の言葉と、彼が「国連事務局の良心」と賞され、異例の7年の任期を勤めたことが知られています。各国の利権争いの場でもある国連は当時も今も、実は決してきれいな世界ではありません。加えて当時の日本は軍国主義に走っていました。そんな中で正義感の強い新渡戸は人種差別撤廃提案を出したり、エスペラント語を作業語にしようとしたり、真の世界平和を目指して尽力し続け、世界中の代表から信頼されました。国連を去るときは別れを惜しんで全職員が彼を見送ったというエピソードが残っています。彼の著書「武士道」は流麗な英語で書かれた名著で、アラビア語を含む17カ国語以上で翻訳されています。

その新渡戸稲造は昭和8年（1933年）、死の直前にカナダで行った講演の最後をこう締めくくっています。

「異なった国民相互の個人的接触こそ、悩み多き世界に計り知れぬ効果をもたらすものではないだろうか。世界中より参じた国民の親密な接触によって、やがて感情ではなく理性が、利己ではなく正義が、人類並びに国家の裁定たる日が来るであろうことを、私がここに期待するのは、あまりに大きな望みであろうか。」

《おまけ》

【問題】「イチゴのショートケーキを二人で分けて食べたい。どうすれば公平に分けられるか。」

*うーむ、三角形か、切り分け方が難しいなあ。イチゴはひとつ。どう分けるべきか。

【解答】「一人が『これなら公平だ』と思うように切り分け、もう一人が好きな方を取る。」

【問題】「外出先で服を汚してしまった。その汚れを目立たなくするにはどうすればよいか。」

【解答】「服の他の部分を目立つように汚す。」

【問題】「『うってかわって』を使って短文をつくりなさい。」

【解答1】「『うってかわって』を使って短文をつくりました。」

【解答2】「彼は麻薬をうってかわってしまった。」

【問題】「この文章が収められている書物名を答えなさい。」

【解答】「教科書」

【問題】「『20分』を英語で書きなさい。」

【解答】「1 / 3 hour」

*実際のテストでは通りません。